

二度目のマルメ研修に参加する機会を与えていただき、大変感謝しております。2011年の研修で I Mejare 先生の講演はとても衝撃的でした。今回もスケジュールの中に先生のお名前を見つけ、「デンタルカリエス」の本を持ってマルメを訪れました。スウェーデンの仕組みをそのまま日本に導入することは不可能ですが、under20 に対し自院でアプローチしていくことは可能です。充填でう蝕が治癒することもなく、永久修復というものもないにもかかわらず、日本人はある意味全員がハイリスクの中にいます。なぜなら、日本にはう蝕に対する教育がないからです。国民皆保険の下、何かしないと費用が発生しない仕組みになっていて、患者さんの行動に影響を与えるような教育に対する評価はないのです。スウェーデンでは PMTC より、患者教育に対する費用のほうが高いことに驚きました。時間がかかるのですから当然ですと説明されました。

前回は予防の先進国スウェーデンで研修が受けられることで、技術的なことやリコールの間隔など（今となっては些細なこと）に眼がいていました。まさに「木を見て森を見ず」でした。スウェーデンでも歯科保健の課題として喫煙や難民問題、20才を過ぎた後の治療費などの問題があることを今回の研修で知ることができました。どちらがいいとか悪いの問題でなく、口腔健康維持や予防への意識が浸透していることは、日本が見習うべき課題であると感じました。私はこれからも学び続けることを忘れずに、より低侵襲性の治療を心がけたいと思います。